



2019年 9月18日

FAX飛躍

JR東労組東京地本青年部

JR東労組青年部第34回定期委員会開催！

●修正動議

報告その5

運動方針（案）のレク・サークル活動に関する修正動議

【修正動議の内容】

JR 東労組青年部は JR 東労組の結成以来、職場活動を原点としてレク・サークル活動を通じた青年部員との繋がり、人間関係を構築してきました。18春闘以降、会社からの悪辣な不当労働行為により多くの青年部員が脱退を余儀なくされています。さらに JR 東日本クラブ大会は、JR 東日本会社と共に後援会として開催をしてきましたが、JR 東労組を一方的に後援から外し、排除をしました。労働者の団結の阻害と悪質な労組対策は絶対に許す事は出来ません。様々な問題が職場で発生しています。レク・サークル活動を積極的に担う事を通じ、職場活動を原点とした青年部員との繋がり、人間関係を強固なものにするため、創造的な集まる場づくりの開催を各地方本部青年部で再度要請をします。そして参加者が JR 東労組の組合員として組合の重要性、必要性を実感し、団結を強化できる場をつくりだします。また、12 地本青年部が一体となったレク・サークルを各地方本部青年部が創造的に作りだしていきます。

賛成（要旨）

八王子地本選出の委員より

- ・クラブ活動は会社のものでなく組合のものでない東日本会社と東労組の後援から成り立つ独立した組織でした。会社のクラブ活動では無いことを冒頭申し上げます。しかし、**昨年より東労組が後援を一方的に外されて以降、各クラブ大会に支部長である支社幹部が積極的に参加しています。会社はクラブを利用して組合員に近づいて関係をつくろうとしています。会社の狙いはクラブを利用した非組合員化攻撃と東労組破壊です。**
- ・クラブ大会に個人として参加することを否定はしません。未加入者や脱退者と趣味を通じて接点を持つことも必要だと思います。そして、会社の意図するクラブ大会にさせないと、東労組の仲間が奮闘しています。横の繋がりを強化し、仲間との絆を深められるレク・サークルをつくり上げ、仲間意識・横の繋がりをより強固にしなければなりません。**東労組青年部主催の第1回フットサル交流大会に私も参加しました。フットサルを通じて横の繋がりがつくれ、青年部組織が強化されたとても東労組らしい運動であったと感じています。この運動をきっかけにして新たな青年部員との横の繋がりがつくることができました。そこで組織化し参加してくれた営業の青年部員は今も東労組に残ってくれています。今こそ東労組として笑顔溢れ魅力あるレク・サークルを各地本青年部、東労組青年部が主催で12地本一体となってレクを創り上げていこうではありませんか！**
- ・現在中断しているスポーツフェスティバルを再開させ青年部から積極的に担います。東労組の一体感をつくり出せるレク・サークルにし、組織力をより強固にして会社施策に立ち向かい、取り組みを通じて未加入の若手や脱退した方に訴え、加入や再加入のたたかいへと進めていきましょう！

反対（要旨）

千葉地本選出の委員より

- ・会社からの攻撃でこれだけの脱退者がでてしまった反省点を私たちリーダーが受け止めるべき。
- ・私たちは、悔しいけどもクラブ大会に参加しない、参加させないということではなく、クラブ大会に再加入対象者がいるならば、クラブ大会に共にリーダーが参加して「戻ってこい」と再加入を訴えることやそのような場で会社からの脱退介入があるのならば組合員を守るためにもリーダーが参加することは抑止効果があるのではないかな。
- ・時間軸を意識して再加入の取り組みをしなくてはならない。そういう観点からも出された動議は方針に盛り込む必要はなく、すでに方針書で提起されている具体的な取り組みのなかに具備されているので反対とします。